



はじめに

ビジネスマナーはどうして大切？

働くうえでどうしてビジネスマナーが大切になるのか、そもそもビジネスマナーが身につけている人は何が違うのか…などと考えたことはあるでしょうか。ビジネスマナーはコミュニケーションの基本でもあります。社会人として、ビジネスマナーが身につけていない人に良い印象を持つ人はいないでしょう。多くの人と関わり、仕事をしていくうえでは「きちんとした人だな」「この人なら関わっても安心だ」と思ってもらえるように装い、行動することが重要なのです。

身だしなみ

初

めて会う相手がまず目にするのは、私たちの「身だしなみ」です。相手に不快感を与えない、清潔感のある身なりを心がけましょう。

身だしなみとはまず「相手のため」。身だしなみについて少しでも迷ったときには、自分がこれで大丈夫と自信を持って振る舞えるように整えます。相手が自分の恰好を見てどう思うのかを考え、どう装うかを考えましょう。

好印象につながる

また、身だしなみは自分の帰属する組織のためでもあります。金融機関は、日々お客様の大切なお金を預かり、様々な相談にも対応できています。これは、お客様が皆さんを「信頼」しているからこそです。お客様に安心して自行車庫を利用してもらえるよう、きちんとした恰好でお客様を迎えましょう。

とした恰好でお客様を迎えましょう。人はまず外見でその人を判断します。あなたがきちんとした身だしなみをしていれば、それはそのまま自分への好印象として返ってくるのです。つまり身だしなみを整えて良い印象を持ってもらえるように努力することは、良好な人間関係を築くことにもつながるといわれています。

身だしなみチェック項目

●髪

髪の毛は顔の周りを囲んでいるために最も目につきやすいところです。男女ともに顔がしっかり見える、清潔感のある髪型にしましょう。寝ぐせなどはもちろんNGです。

女性は、お辞儀をしたときに前髪をかきあげなくても済むよう、目線を遮らないようにセットしましょう。肩より長い場合は束ねましょう。男性は、眉が見えたほうが表情が伝わりやすいため前髪は短く切り、襟足がシャツにつかない長さになるようにします。ワックスなどを扱う場合は適量にしましょう。

●爪

手続きの際など、何かと見られる機会が多いのが手元です。爪が伸びすぎているか、汚れているかを確認します。ネイルをしている女性は、派手すぎないか、剥けていないかといった点も注意しましょう。

●衣服

シワや汚れがあると目立ってしまいます。袖やシャツの襟もしっかりと確認しましょう。体型に合った服を着ることですっきりした印象を与える効果があります。また、スーツやネクタイの色は派手すぎないものにしきましょう。

●足元

靴にひどい傷みや汚れはないかを確認します。特に涉外では目につくため、気を抜かないようにしましょう。なお、服装等の規定は各金融機関で異なります。自行車庫のルールをベースにしてください。

髪

お辞儀をしたときに崩れない髪型にする。長い髪は束ねること。ピンや髪ゴムは黒など目立たない色にする。髪色はナチュラルに

メイク

お化粧品はナチュラルに。チークやリップは濃すぎないようにする。また、香水もつけすぎないようにする

アクセサリ

ピアスやイヤリングなどのアクセサリは派手すぎず、小ぶりなものにする

衣服

シワや汚れがないか確認する。カジュアルの場合は、ラフすぎるもの、派手なものや露出の多いデザインは避ける

爪

爪が伸びすぎていないこと、汚れていないことを確認。ネイルをしている場合は派手すぎではないか、剥けていないかもチェックする

足元

靴にひどい傷みや汚れがないかを確認する

髪

前髪は短く、おでこや耳周りが出るようにする。襟足はシャツの襟につかない長さにする。ワックスは使いすぎないように

顔

髭はそり残していないか、眉毛は整えられているかを確認

爪

爪が伸びすぎていないこと、汚れていないことを確認

足元

靴にひどい傷みや汚れがないかを確認する。白い靴下はNG。スーツや靴に合った暗い色のものを選ぶ

衣服

シワや汚れがないか確認する。スーツやシャツ、ネクタイの色は派手すぎないもの、色味が調和しているものを選ぶ